

令和5年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【恵庭市小・中学校における調査結果（報告）】



令和6年3月  
恵庭市教育委員会

## ◆ 目 次 ◆

1. 調査の概要	P 1
2. 用語の解説と説明	P 2
3. 調査結果の掲載方法	P 3
4. 北海道の調査結果について	P 3
5. 実技の結果	P 4
小学校	
中学校	
6. 体格と肥満度に関する調査結果	P 8
小学校	
中学校	
7. 児童生徒質問紙調査の結果	P 1 2
小学校（児童）	
中学校（生徒）	
8. 学校質問紙調査の結果	P 2 0

# 令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

## 【恵庭市における調査結果の状況】

### 1 調査の概要

#### ① 調査の目的

子どもの体力が低下している状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

恵庭市は全国、全道的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。なお、令和5年度も令和4年度同様、全学校を対象として調査を実施する。

学校では各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

#### ② 調査の対象学年

- ・小学校第5学年
- ・中学校第2学年

#### ③ 調査の内容

##### I. 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という）測定方法等は新体力テストの方法による〔小学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という）

##### II. 学校に対する質問紙調査

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）

#### ④ 調査期間

令和5年4月から令和5年7月までの期間で実施

#### ⑤ 参加状況（調査を受けた学校数、児童生徒数）

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
恵庭市	8校	569人	5校	570人
全国	18,693校	977,758人	9,426校	867,847人
全道	963校	36,976人	597校	34,605人

## 2 用語の解説と説明

体カテスト種目		単位	体力要素	測定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤	持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m, 女子1000mの走行時間 (中学校選択)
	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数 (小学校・中学校選択)
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離 (小学校)
	ハンドボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離 (中学校)
体力合計点		点	8種目の体カテスト成績を1点から10点に得点化して総和した体カテスト合計得点	
総合評価		5段階	8種目の体カテストをすべて実施した場合、体カテスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

用語	解説
標本数	平均値、標準偏差、T得点を算出した人数。
平均値	調査結果 (テスト成績) の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値 = 調査結果の総和 / 標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値 ± 標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値 ± 標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る (いずれも正規分布の場合) 「標準偏差 = 分散の平方根、分散 = 偏差平方和 / (標本数 - 1)、 偏差平方和 = 偏差の平方の総和、偏差 = 調査結果 - 平均値」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T得点 = 50 + 10 × (調査結果 - 平均値) / 標準偏差」

※公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

※国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

### 【標準体重と肥満度判定】

「児童・生徒の健康診断マニュアル (改訂版)」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = [\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

#### ■標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
<b>10 (小5)</b>	<b>0.752</b>	<b>70.461</b>	<b>0.730</b>	<b>68.091</b>
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
<b>13 (中2)</b>	<b>0.815</b>	<b>81.348</b>	<b>0.655</b>	<b>54.234</b>
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

#### ■判定基準

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	正常
-20 ~ -29.9%	やせ
-30%以下	高度やせ

### 3 調査結果の掲載方法

全道・全国平均値との比較として、「記号」や「文言」で表します。

#### 1. 「cm・m・kg・回・点・秒」の比較、表示方法

	ポイント差	文言	記号
	+5.0以上	上回る	△
	+2.0～ +4.9	やや上回る	◇
	-1.9～ +1.9	ほぼ同程度	≒
	-2.0～ -4.9	やや下回る	◆
	-5.0以下	下回る	▼

#### 2. 「%」の比較、表示方法

	ポイント差	文言	記号
	+5.0%以上	上回る	△
	+2.0%～ +4.9%	やや上回る	◇
	-1.9%～ +1.9%	ほぼ同程度	≒
	-2.0%～ -4.9%	やや下回る	◆
	-5.0%以下	下回る	▼

恵庭市における「実技の結果・体格と肥満度に関する調査結果・児童生徒質問紙調査の結果・学校質問紙調査の結果」の実際の結果平均数値については、他市町村等との単純比較や序列化などに結びつき、調査の目的を損ないかねないとの考えから、公表いたしません。  
同様の理由により、市内小・中学校ごとの結果数値についても公表いたしません。

### 4 北海道の調査結果について

北海道教育委員会としての調査結果報告書については、下記のアドレスから、PDF形式でダウンロードすることができます。

北海道（公立）における調査結果報告書  
 ⇒ <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/174967.html>



## 5 実技の結果

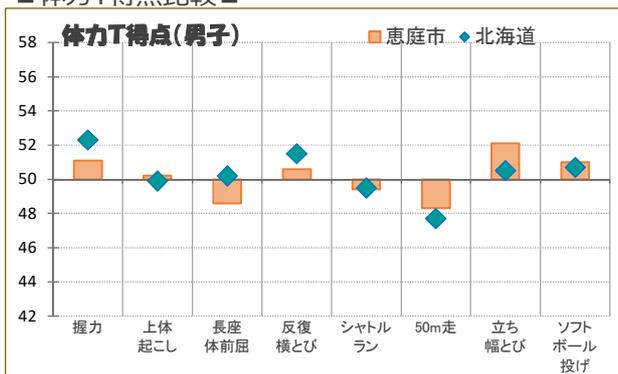
### <小学校男子>

- 「立ち幅とび」は全国・全道平均をやや上回っており、それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度である。
- 令和元年～令和4年度と比較すると、「立ち幅とび」は令和4年度の記録をやや上回っている。また「総合評価」については、A・B評価の割合が令和4年度より増加している。

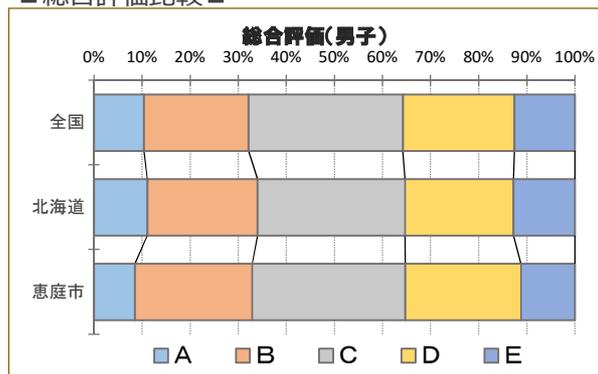
#### ■種目別結果の平均値■

小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	16.13	17.00	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	20.52	21.06	≒	≒	
上体起こし (回)	19.00	18.97	≒	≒	体力合計点 (点)	52.59	52.81	≒	≒	
長座体前屈 (cm)	33.98	34.17	≒	≒	総合評価 (%)	A	10.4%	11.1%	≒	◆
反復横とび (点)	40.60	41.83	≒	≒		B	21.8%	22.9%	◇	≒
20mシャトルラン (回)	46.92	45.76	≒	≒		C	32.1%	30.7%	≒	≒
50m走 (秒)	9.48	9.75	≒	≒		D	23.2%	22.5%	≒	≒
立ち幅とび (cm)	151.13	152.37	◇	◇		E	12.6%	12.8%	≒	≒

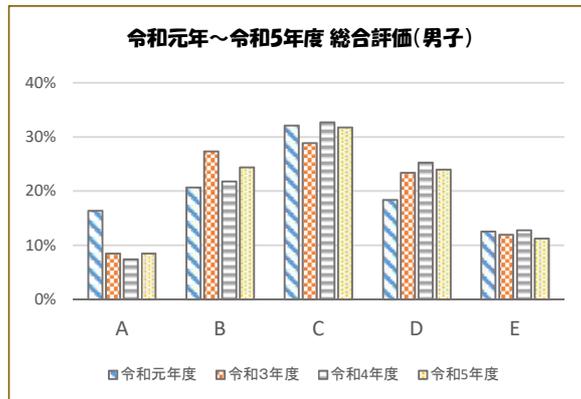
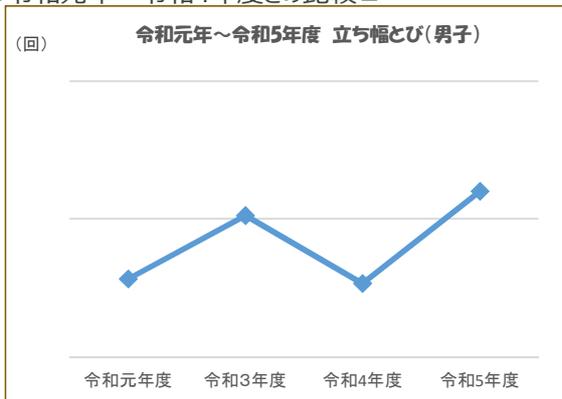
#### ■体力T得点比較■



#### ■総合評価比較■



#### ■令和元年～令和4年度との比較■



<小学校女子>

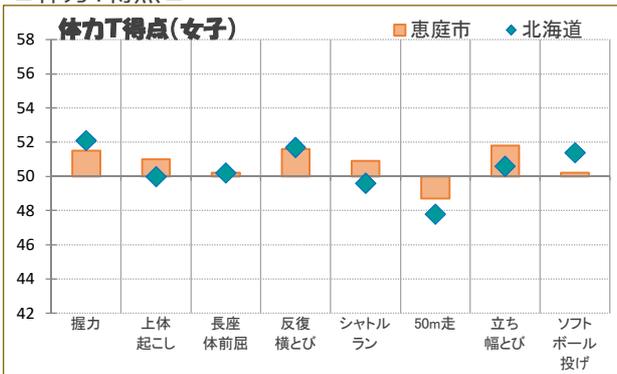
●「20mシャトルラン」が全道平均をやや上回り、「立ち幅とび」が全国・全道平均をやや上回っている。それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度である。

●令和元年～令和4年度と比較すると、「20mシャトルラン」は令和4年度の記録を上回っている。また「総合評価」については、D評価の割合が減少しており、B評価の割合が増加している。

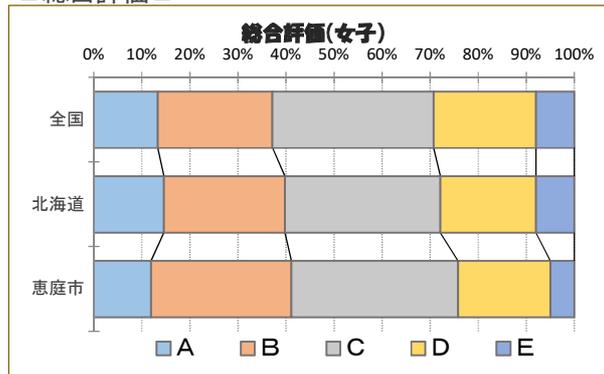
■種目別結果の平均値■

小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	16.01	16.85	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	13.22	13.91	≒	≒	
上体起こし (回)	18.05	18.05	≒	≒	体力合計点 (点)	54.28	54.71	≒	≒	
長座体前屈 (cm)	38.45	38.60	≒	≒	総合評価 (%)	A	13.3%	14.6%	≒	◆
反復横とび (点)	38.73	39.96	≒	≒		B	23.9%	25.2%	△	◇
20mシャトルラン (回)	36.80	36.12	≒	◇		C	33.5%	32.3%	≒	◇
50m走 (秒)	9.71	9.92	≒	≒		D	21.3%	19.9%	◆	≒
立ち幅とび (cm)	144.29	145.56	◇	◇		E	8.0%	8.0%	◆	◆

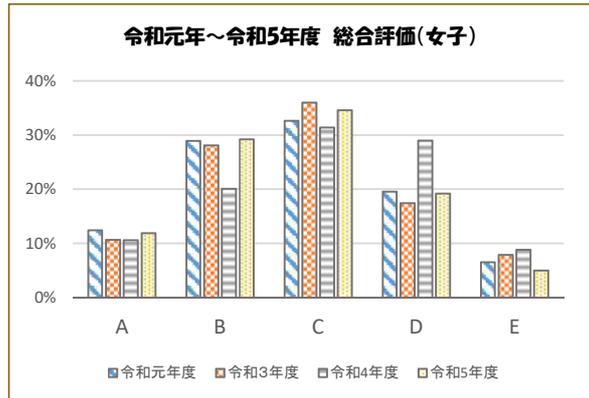
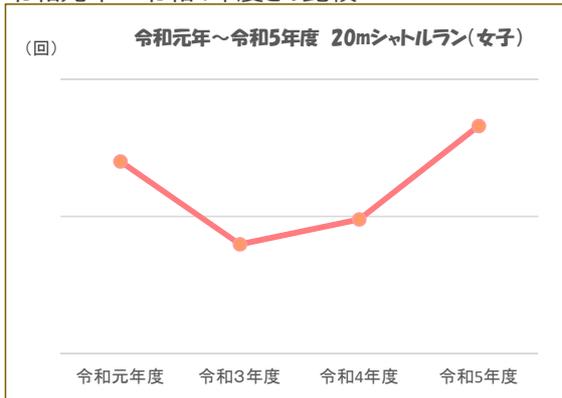
■体力T得点■



■総合評価■



■令和元年～令和4年度との比較■



## 5 実技の結果

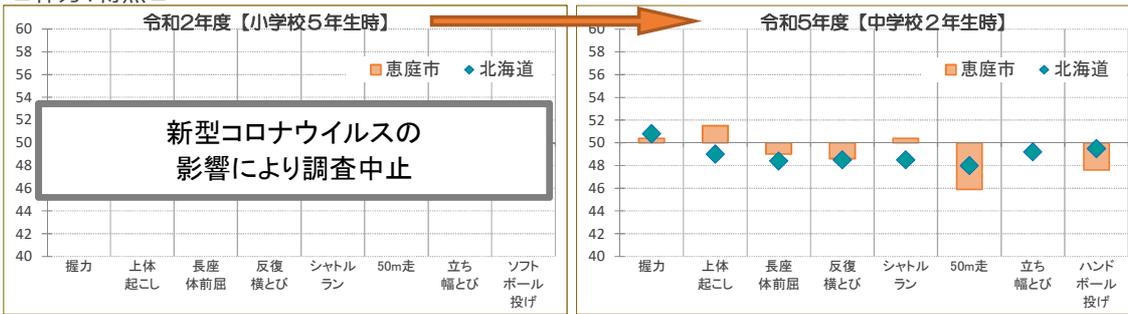
### <中学校男子>

- 「20mシャトルラン」と「立ち幅とび」は全道平均をやや上回り、それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度である。
- 令和元年～令和4年度と比較すると、「長座体前屈」は過去3年間と比較して最も高い。また「総合評価」については、C評価の割合が令和4年度より減少し、A・D・E評価の割合が増加している。

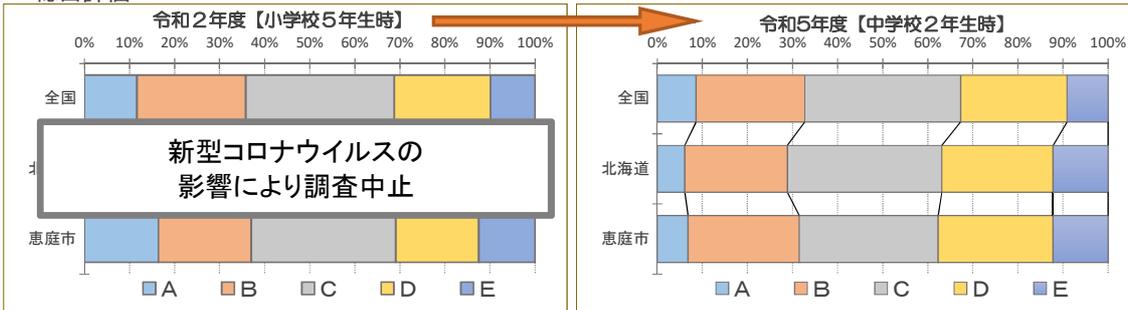
### ■種目別結果の平均値■

中学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	29.02	29.57	≒	≒	ハンドボール投げ (m)	20.40	20.08	≒	≒	
上体起こし (回)	25.82	25.17	≒	≒	体力合計点 (点)	41.32	40.00	≒	≒	
長座体前屈 (cm)	44.16	42.38	≒	≒	総合評価 (%)	A	8.6%	6.1%	≒	≒
反復横とび (点)	51.22	49.87	≒	≒		B	24.1%	22.8%	≒	≒
持久走 (秒)	409.02	426.84	◇	◇		C	34.6%	34.3%	◆	◆
20mシャトルラン (回)	78.07	74.26	≒	◇		D	23.6%	24.7%	≒	≒
50m走 (秒)	8.01	8.20	≒	≒		E	9.1%	12.2%	◇	≒
立ち幅とび (cm)	197.02	194.57	≒	◇	※「持久走」は標本数が少ないため、結果の比較は省略					

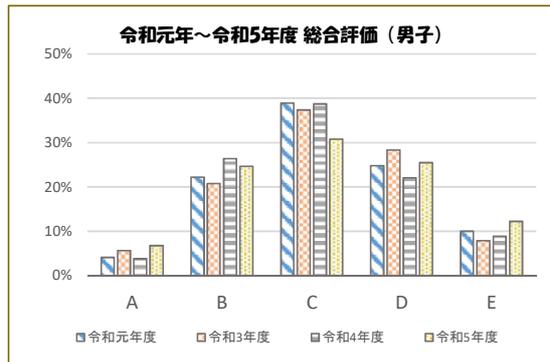
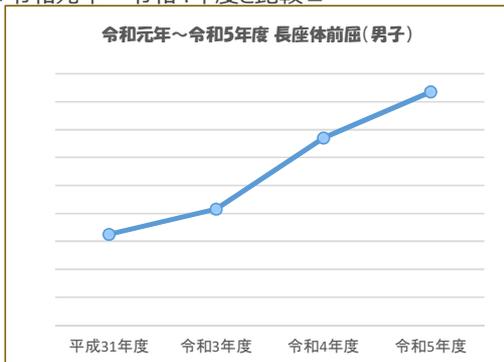
### ■体力T得点■



### ■総合評価■



### ■令和元年～令和4年度と比較■



＜中学校女子＞

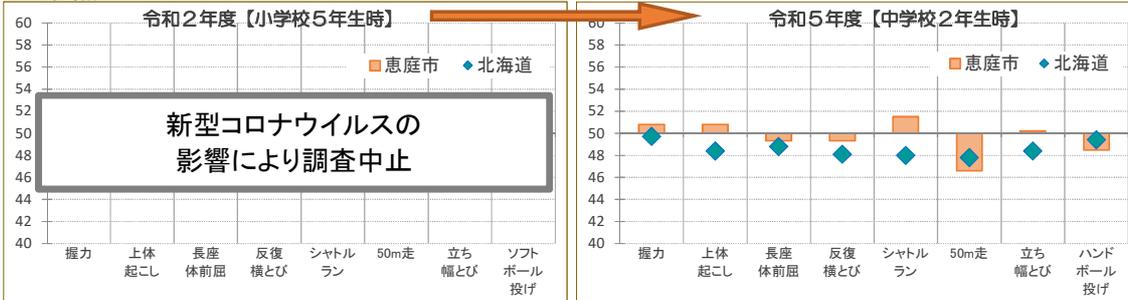
- 「20mシャトルラン」は全国平均をやや上回り、全道平均を上回っている。「立ち幅とび」は全道平均をやや上回っており、それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度である。
- 令和元年～令和4年度と比較すると、「長座体前屈」は令和4年度の記録を上回っている。また「総合評価」については、A評価の割合が令和4年度より増加している。

■種目別結果の平均値■

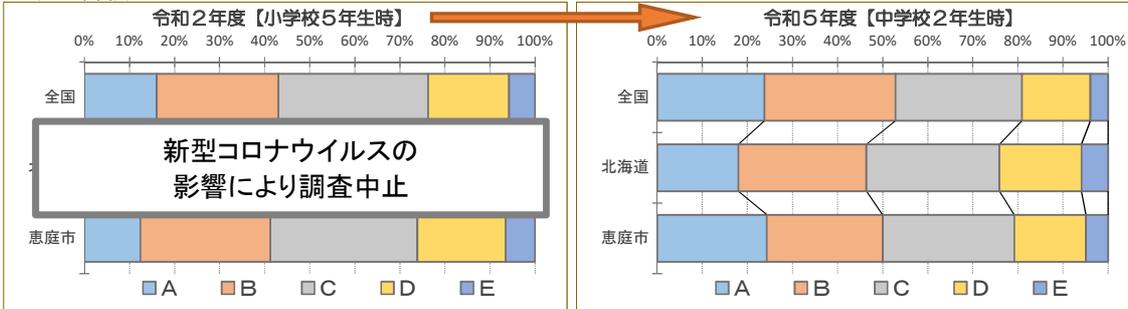
中学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
握力 (kg)	23.15	23.03	≒	≒	ハンドボール投げ (m)	12.43	12.17	≒	≒
上体起こし (回)	21.62	20.67	≒	≒	体力合計点 (点)	47.22	45.06	≒	≒
長座体前屈 (cm)	46.27	45.02	≒	≒	総合評価 (%)	A	23.8%	18.0%	≒
反復横とび (点)	45.65	44.28	≒	≒		B	29.1%	28.4%	◆
持久走 (秒)	306.26	328.86	◇	◇		C	28.1%	29.5%	≒
20mシャトルラン (回)	50.70	46.73	◇	△		D	15.2%	18.2%	≒
50m走 (秒)	8.95	9.15	≒	≒		E	3.9%	5.9%	≒
立ち幅とび (cm)	48.23	45.45	≒	◇					

※「持久走」は標本数が少ないため、結果の比較は省略

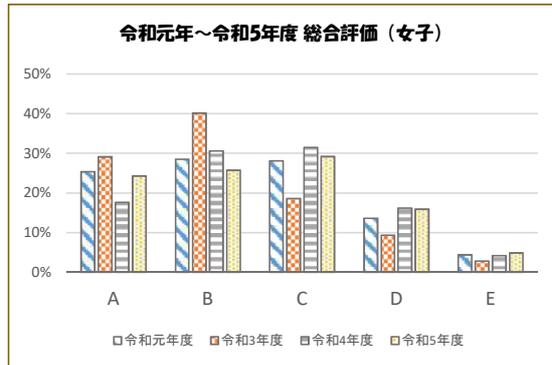
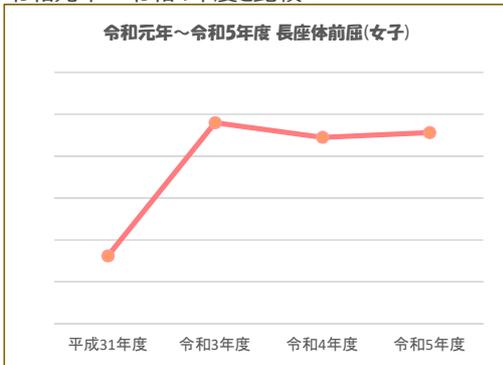
■T得点■



■総合評価■



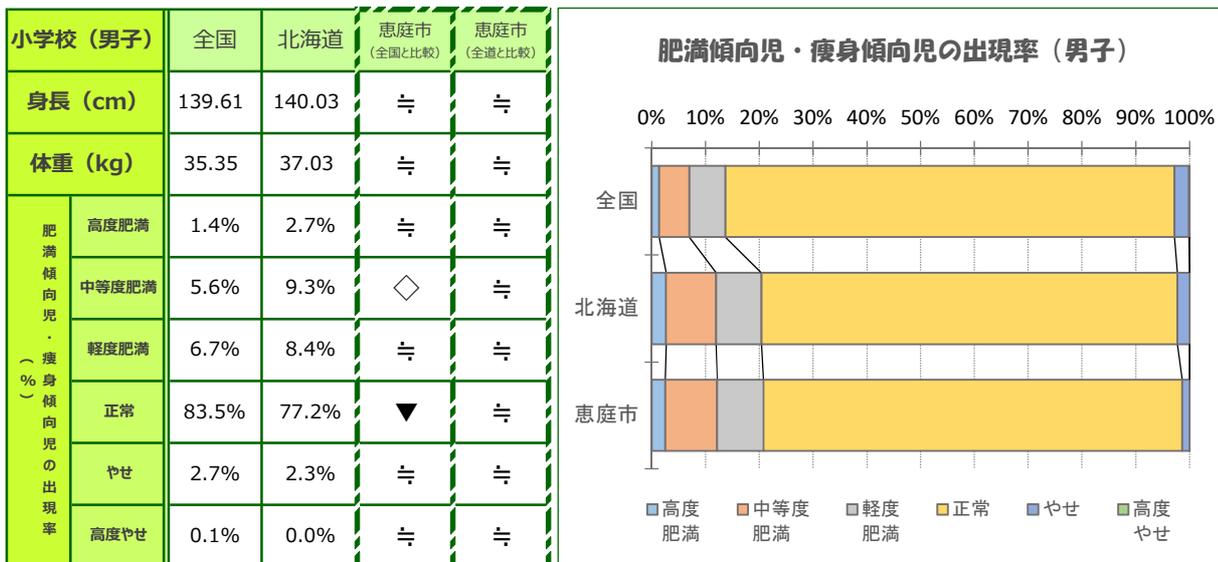
■令和元年～令和4年度と比較■



## 6 体格と肥満度に関する調査結果

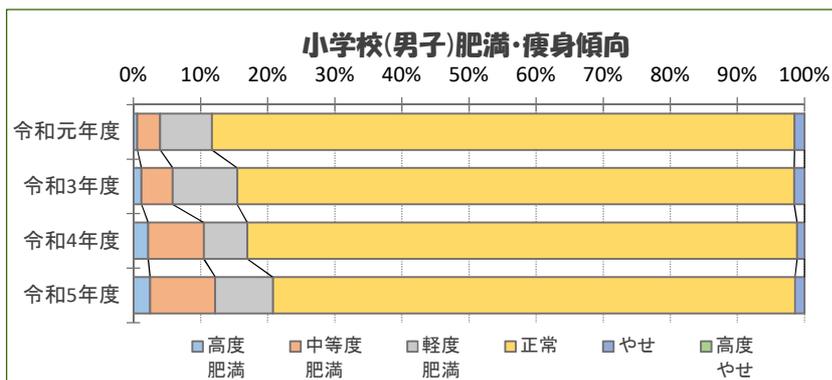
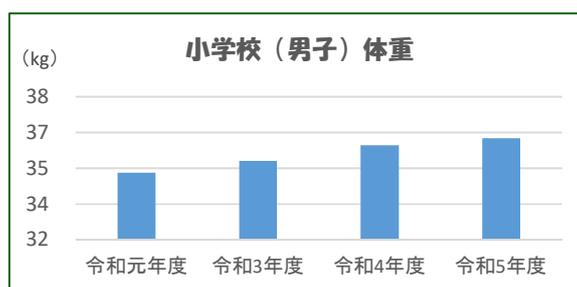
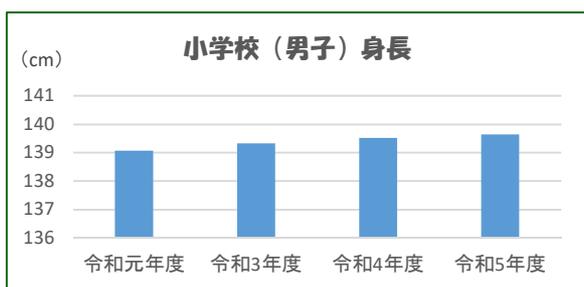
### <小学校男子>

- 全国・全道平均と比較して、「身長・体重」ともにほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「中等度肥満」の割合が全国をやや上回っている。また、「正常」の割合が全国を下回っており、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。



### ■令和元年～令和4年度と比較■

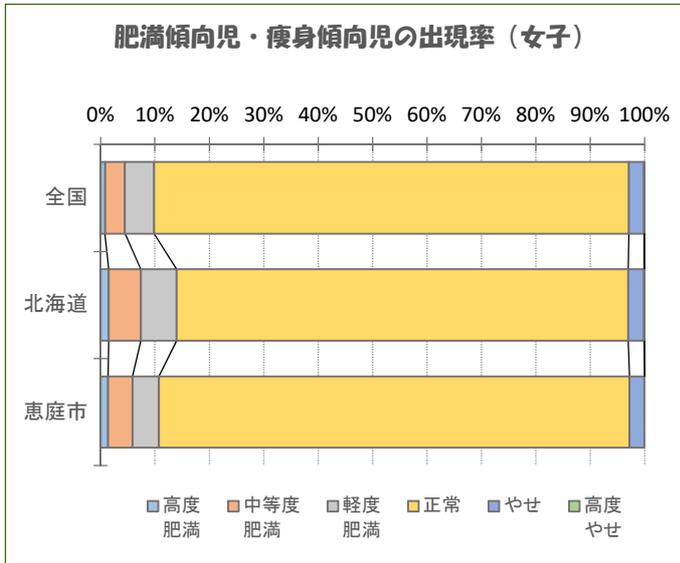
- 過去3年間と比較して、「身長・体重」ともにやや増加傾向にある。
- 肥満・痩身傾向については、過去3年間と比較して「高度肥満」「中等度肥満」の割合が最も高い。



<小学校女子>

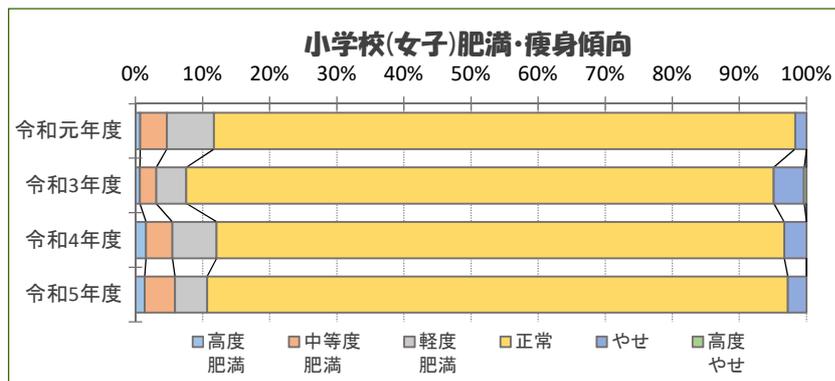
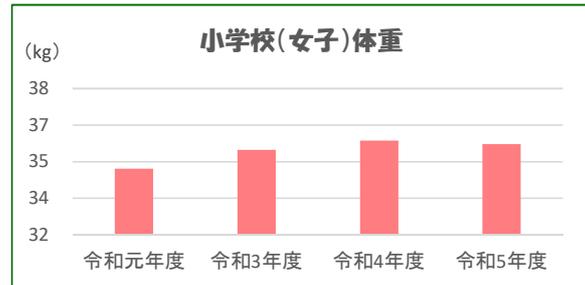
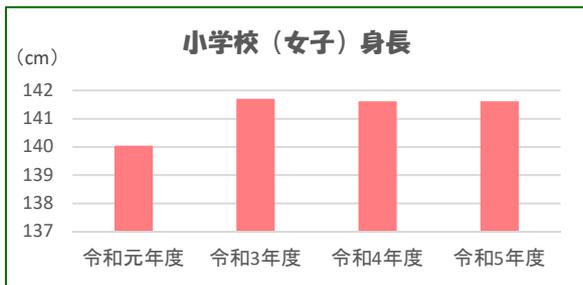
- 全国・全道平均と比較して、「身長・体重」ともにほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が全道をやや上回っており、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

小学校（女子）		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		141.26	141.92	≒	≒
体重 (kg)		35.24	36.57	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.8%	1.5%	≒	≒
	中等度肥満	3.7%	5.9%	≒	≒
	軽度肥満	5.3%	6.6%	≒	≒
	正常	87.4%	83.1%	≒	◇
	やせ	2.8%	2.9%	≒	≒
	高度やせ	0.1%	0.1%	≒	≒



■令和元年～令和4年度と比較■

- 過去3年間と比較して、「身長・体重」ともに大きな変化はない。
- 肥満・痩身傾向については、「中等度肥満」の割合が過去3年間と比較して最も高い。

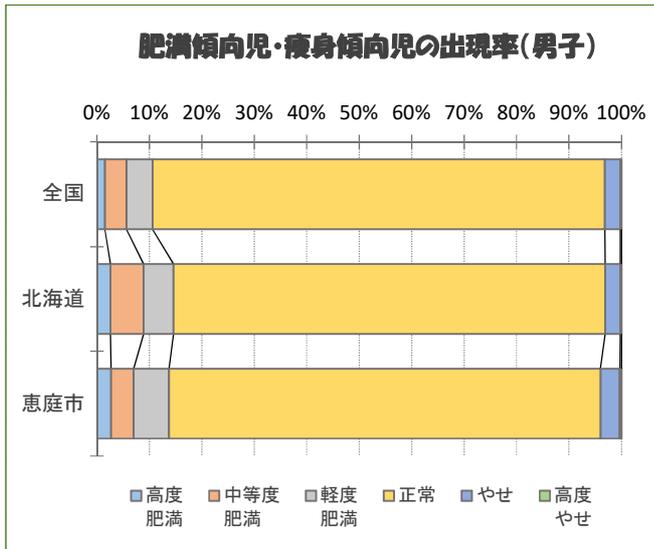


## 6 体格と肥満度に関する調査結果

<中学校男子>

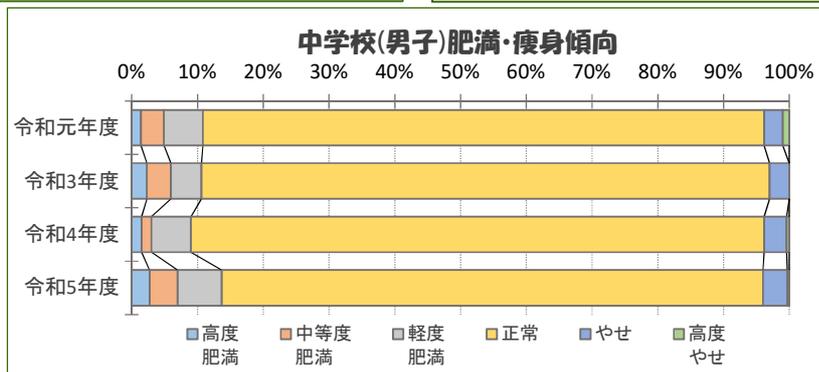
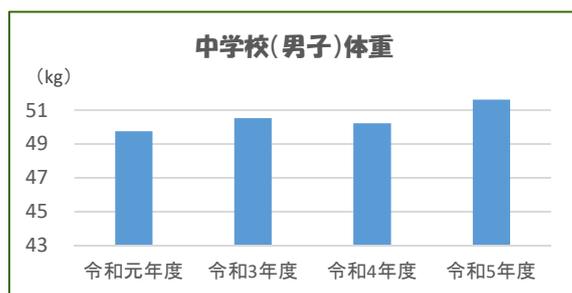
- 全国・全道平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が全国をやや下回っているが、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

中学校(男子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		161.17	162.22	≒	≒
体重 (kg)		50.22	52.29	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	1.5%	2.6%	≒	≒
	中等度肥満	4.1%	6.3%	≒	≒
	軽度肥満	5.0%	5.7%	≒	≒
	正常	86.2%	82.3%	◆	≒
	やせ	3.0%	2.9%	≒	≒
	高度やせ	0.2%	0.2%	≒	≒



### ■令和元年～令和4年度と比較■

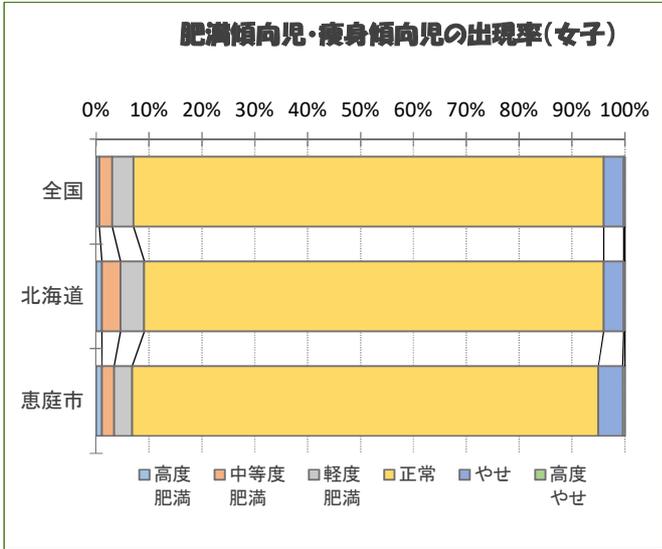
- 過去3年間と比較して、身長・体重ともに増加傾向にある。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合は過去3年間と比較して最も低くなっており、「高度肥満」「中等度肥満」「軽度肥満」の割合は過去3年間と比較して最も高い。



<中学校女子>

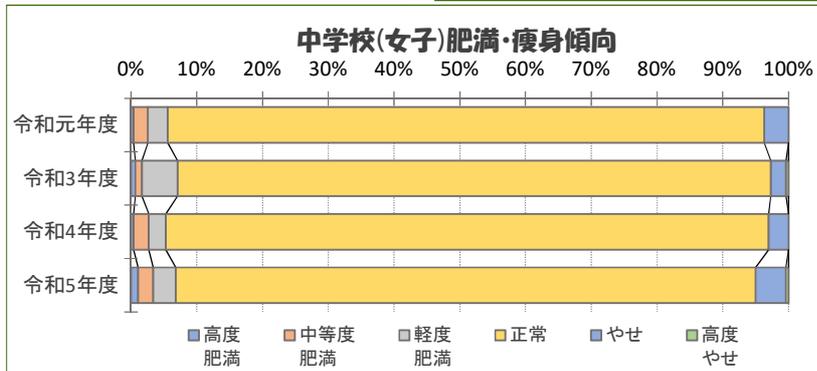
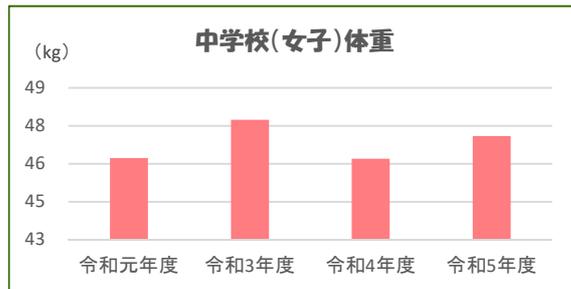
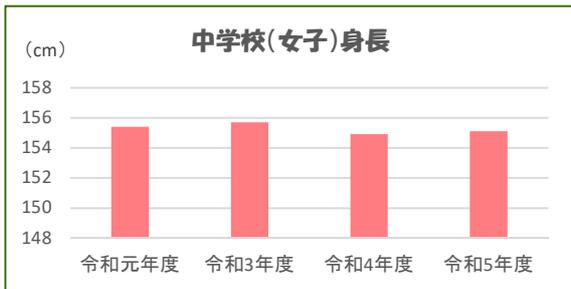
- 全国・全道平均と比較して、身長・体重ともほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向についても、全国・全道とほぼ同程度である。

中学校(女子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		154.94	155.13	≒	≒
体重 (kg)		46.87	47.44	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.6%	1.1%	≒	≒
	中等度肥満	2.4%	3.5%	≒	≒
	軽度肥満	4.0%	4.5%	≒	≒
	正常	88.9%	87.0%	≒	≒
	やせ	3.8%	3.8%	≒	≒
	高度やせ	0.2%	0.2%	≒	≒



■令和元年～令和4年度と比較■

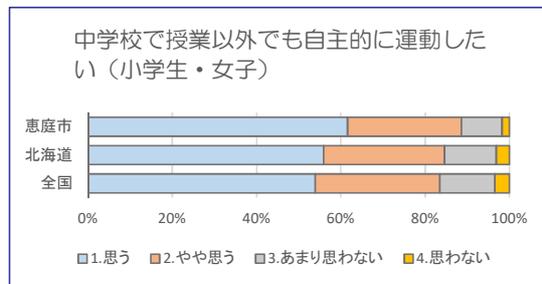
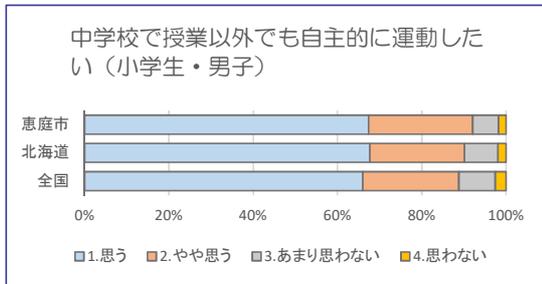
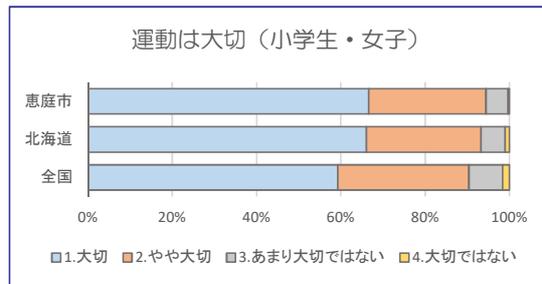
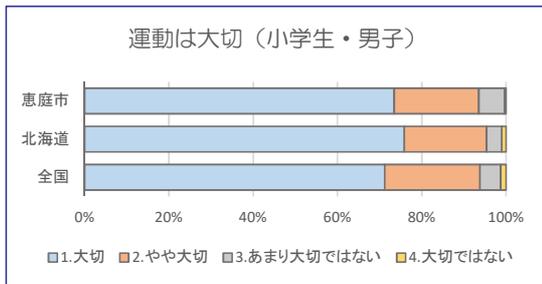
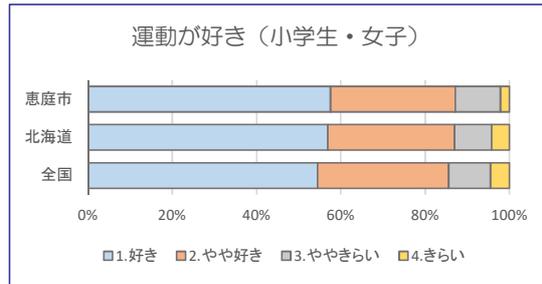
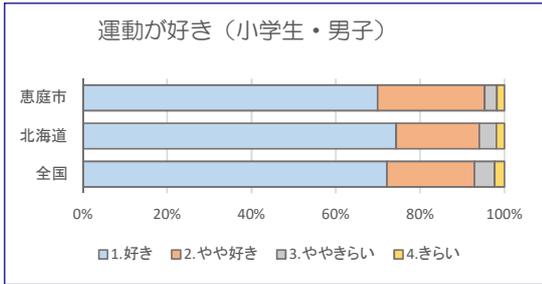
- 過去3年間と比較して、「身長・体重」ともに大きな変化はない。
- 肥満・痩身傾向については、「やせ」の割合が過去3年間で最も高く、「正常」が最も低くなっている。



## 7 児童生徒質問紙調査の結果 (小学校)

### 運動に対する意識

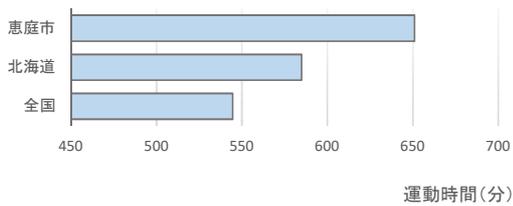
- 運動が「好き」と回答した割合について、男女ともに全国・全道平均と同程度の割合である。
- 運動が「大切」と回答した割合について、全国平均と比較して、男子が同程度、女子がやや上回っている。
- 中学校で授業以外でも自主的に運動したいと「思う」と回答した割合について、全国平均と比較して、男子が同程度、女子がやや上回っている。



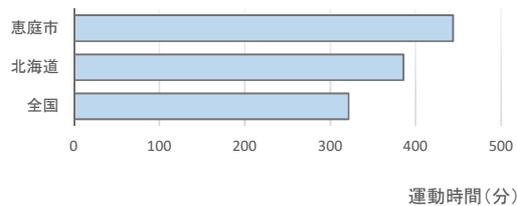
## 運動習慣について

- 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を比較すると、男女ともに全国平均を大きく上回っている。
- 地域のスポーツクラブの所属について、「入っていない」と回答した割合は、男女で比較すると女子が大きく上回っている。また、全国平均と比較して「入っている」と回答した割合は、男女ともに下回っている。
- 地域のスポーツクラブでの活動回数は、男女ともに「週1回」と回答した割合が最も高い。

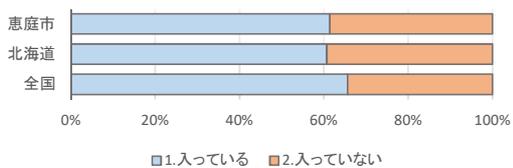
1週間の総運動時間（小学生・男子）



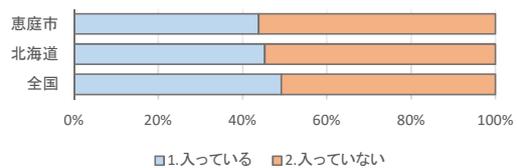
1週間の総運動時間（小学生・女子）



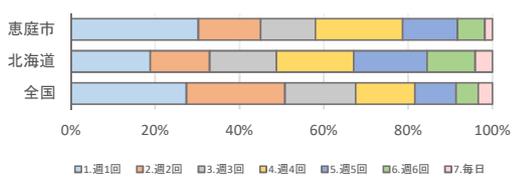
地域のスポーツクラブへの所属  
（小学生・男子）



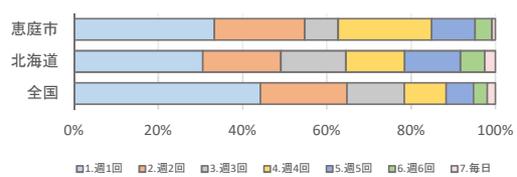
地域のスポーツクラブへの所属  
（小学生・女子）



地域のスポーツクラブでの活動回数  
（小学生・男子）



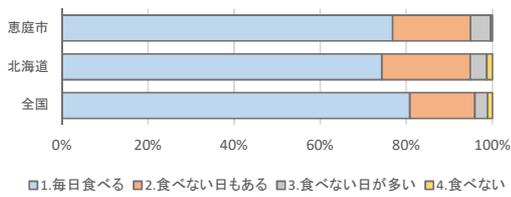
地域のスポーツクラブでの活動回数  
（小学生・女子）



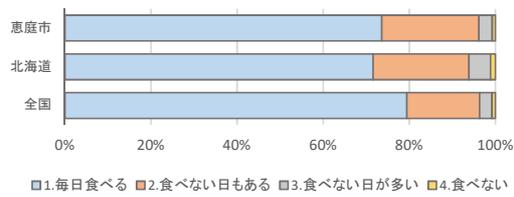
## 生活習慣について

- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合については、全国平均と比較すると男女ともに下回っているが、全道平均と比較すると、男女ともにやや上回っている。
- 1日の睡眠時間については、全国平均と比較して、「8時間以上」と回答した割合が男女ともにやや下回っている。
- 平日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の視聴時間について、「5時間以上」と回答した割合が、男女ともに全国平均をやや上回っている。

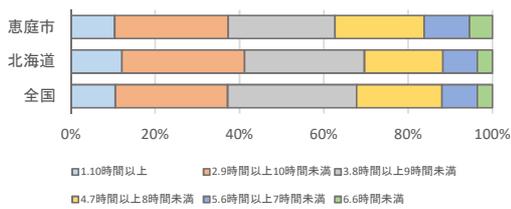
朝食を食べる（小学生・男子）



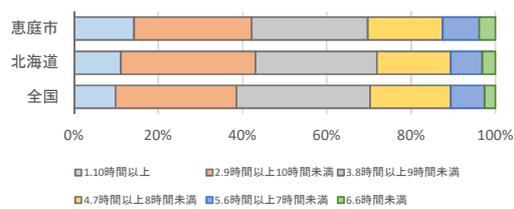
朝食を食べる（小学生・女子）



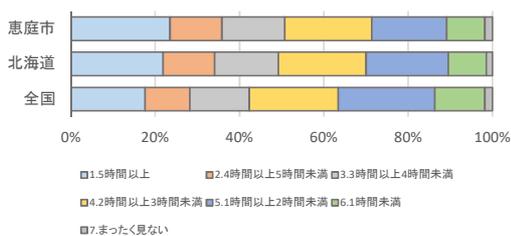
1日の睡眠時間（小学生・男子）



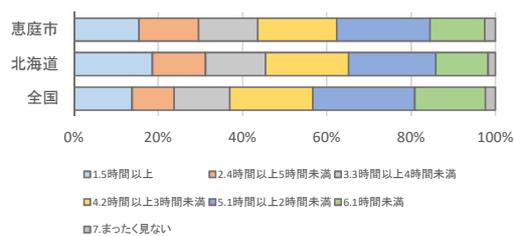
1日の睡眠時間（小学生・女子）



平日の視聴時間（小学生・男子）



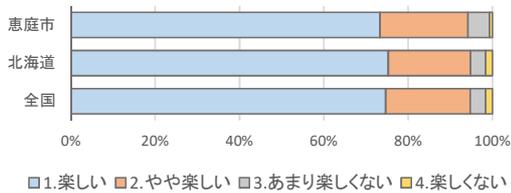
平日の視聴時間（小学生・女子）



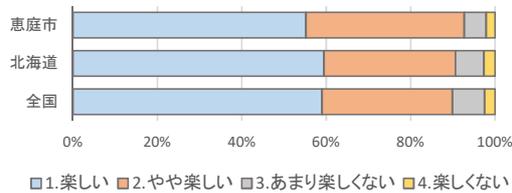
## 体育の授業について

- 体育授業が「楽しい」と回答した割合は、全国平均と比較して、男子が同程度、女子がやや下回っている。
- 体育授業で「進んで学習している」と回答した割合は、男女ともに全国・全道平均と同程度である。
- 体育授業で「できたり、わかったりすることがいつもある」と回答した割合は、全国平均と比較して、男子でやや下回っており、女子は同程度となっている。
- 体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した割合は、男女ともに全国・全道平均をやや下回っている。

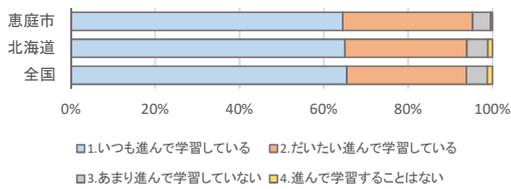
体育の授業は楽しい（小学生・男子）



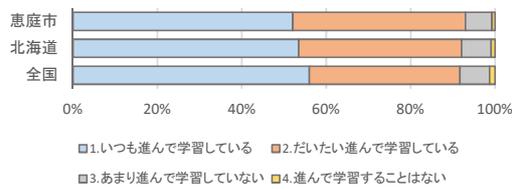
体育の授業は楽しい（小学生・女子）



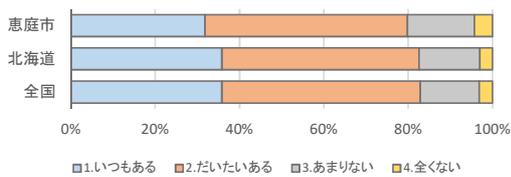
体育の授業で、進んで学習に参加している（小学生・男子）



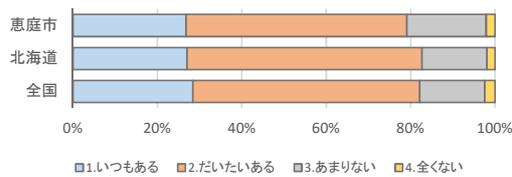
体育の授業で、進んで学習に参加している（小学生・女子）



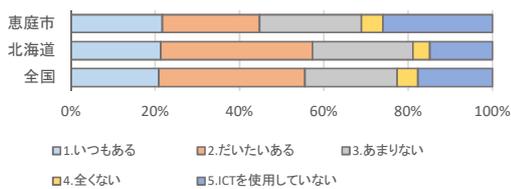
体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること（小学生・男子）



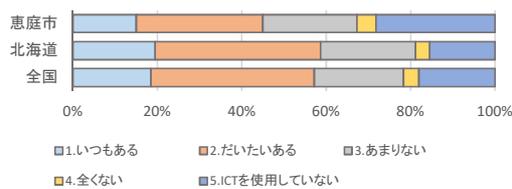
体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること（小学生・女子）



体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること（小学生・男子）



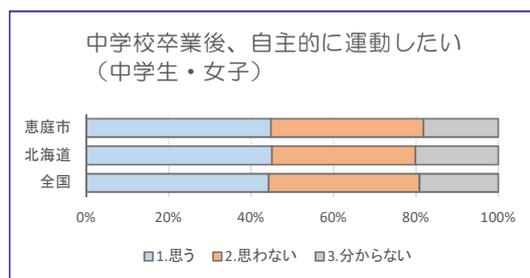
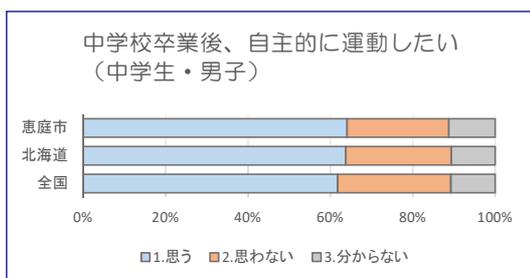
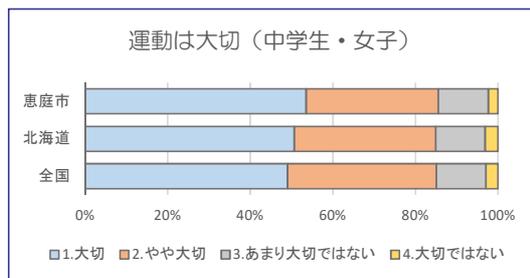
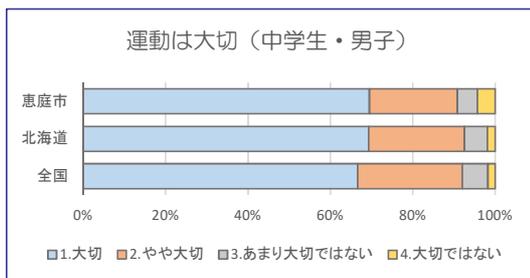
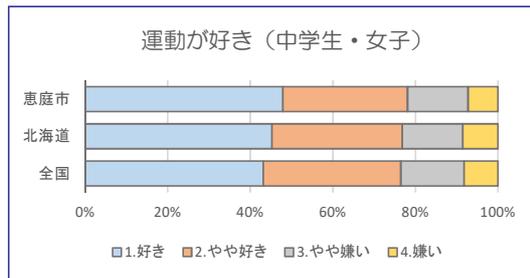
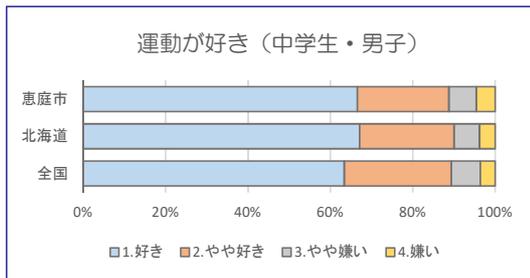
体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること（小学生・女子）



## 7 児童生徒質問紙調査の結果（中学校）

### 運動に対する意識

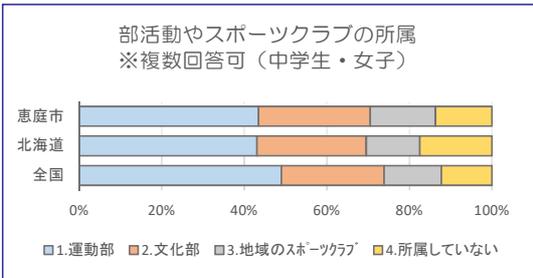
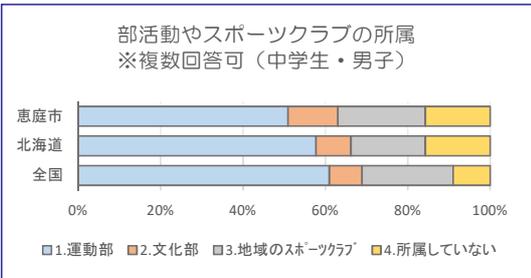
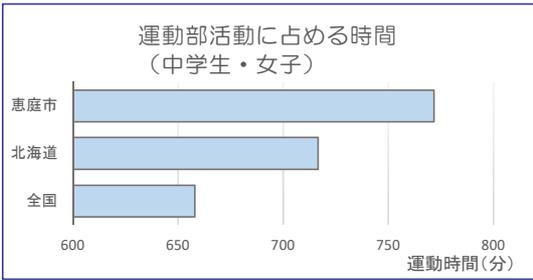
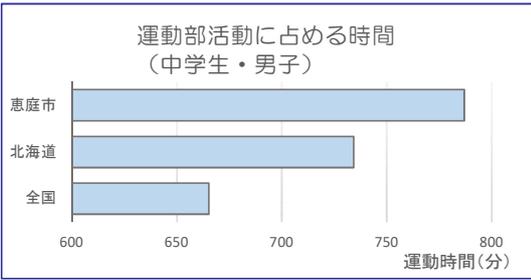
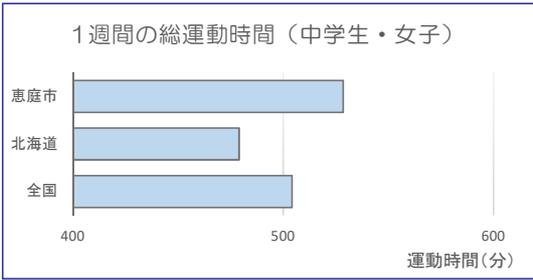
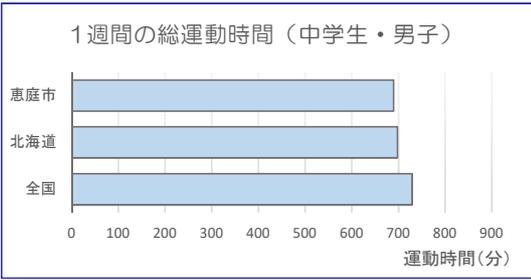
- 運動が「好き」と回答した割合について、男女ともに全国平均を上回っている。
- 運動が「大切」と回答した割合について、男女ともに全国平均を上回っている。
- 中学校卒業後、自主的に運動したいと「思う」と回答した割合は、全国平均と比較すると、男子はやや上回っており、女子は同程度である。



## 運動習慣について

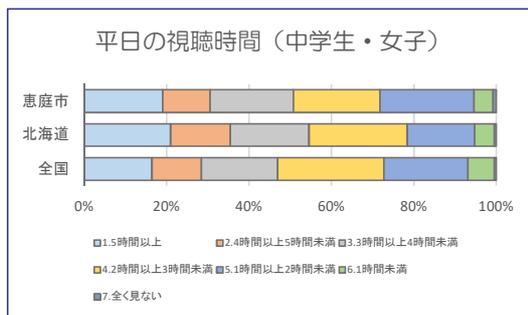
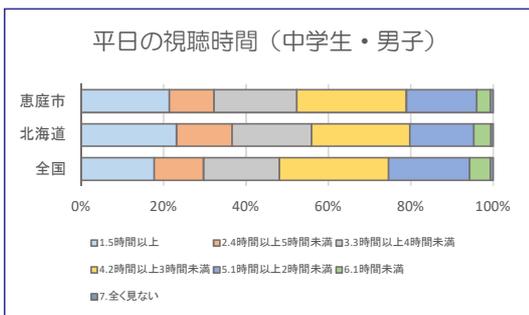
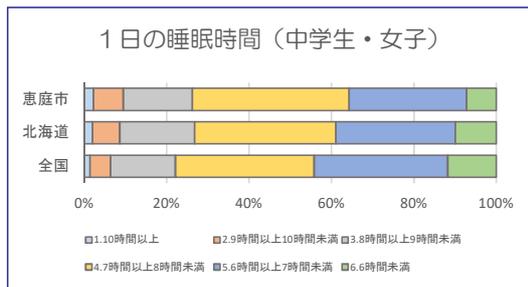
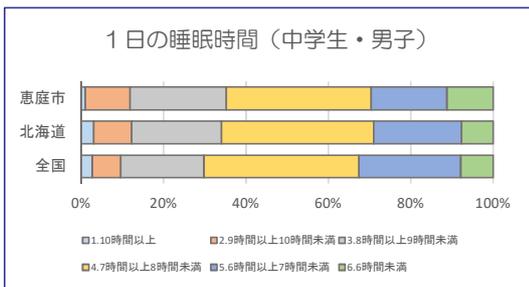
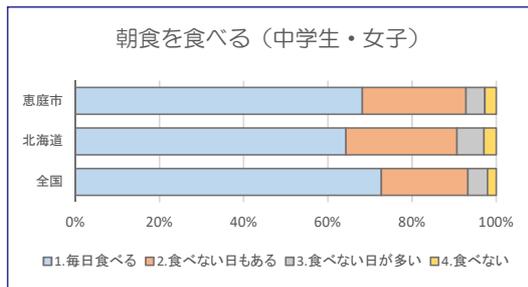
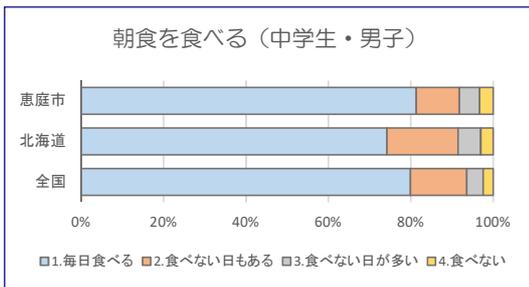
● 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を全国・全道平均と比較すると、男子は同程度で、女子は上回っている。また、運動部に所属している生徒の部活動に占める時間は、男女ともに全国・全道平均を上回っている。

● 部活動やスポーツクラブの所属について、「運動部」に所属していると回答した割合は、男女ともに全国平均を下回っている。



## 生活習慣について

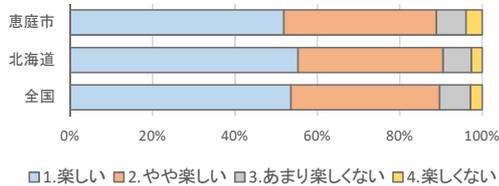
- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合について、全国平均と比較して、男子はやや下回っている。
- 1日の睡眠時間については、男女ともに「7時間以上8時間未満」と回答した割合が最も多い。睡眠時間が「7時間以上」と回答した割合が、男女ともに全国平均をやや上回っている。
- 平日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の視聴時間について、男女ともに「3時間以上」と回答した割合が、全体の半分程度となっている。



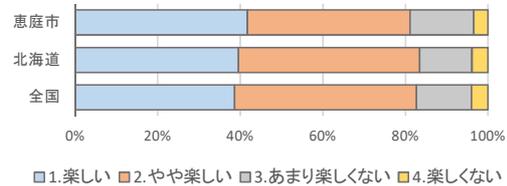
## 保健体育の授業について

- 保健体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると男子はやや下回っており、女子はやや上回っている。
- 保健体育授業で「進んで学習する」と回答した割合は、男女ともに全国平均と同程度であり、全道平均をやや上回っている。
- 保健体育授業で「できたり、わかったりすることがいつもある」と回答した割合は、男女ともに全国平均と同程度となっている。
- 体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した割合は、全国平均と比較すると男子は同程度となっており、女子はやや上回っている。

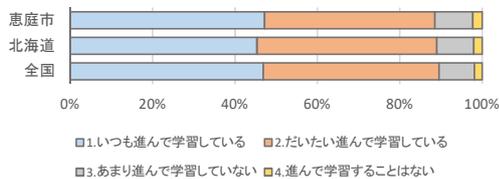
保健体育の授業は楽しい（中学生・男子）



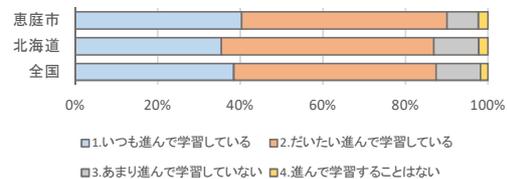
保健体育の授業は楽しい（中学生・女子）



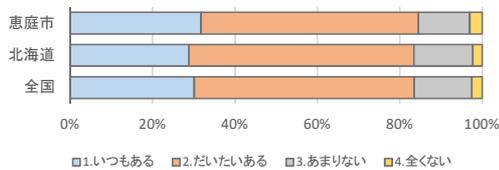
保健体育授業で、進んで学習に参加している（中学生・男子）



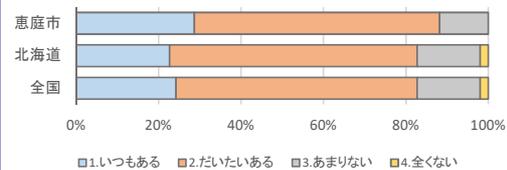
保健体育授業で、進んで学習に参加している（中学生・女子）



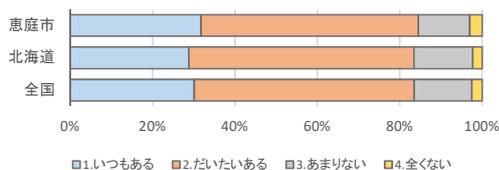
保健体育授業で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること（中学生・男子）



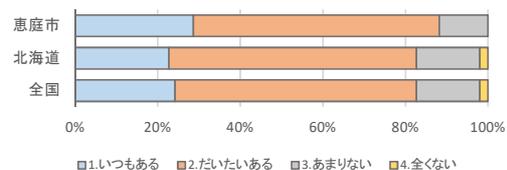
保健体育授業で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること（中学生・女子）



体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること（中学生・男子）



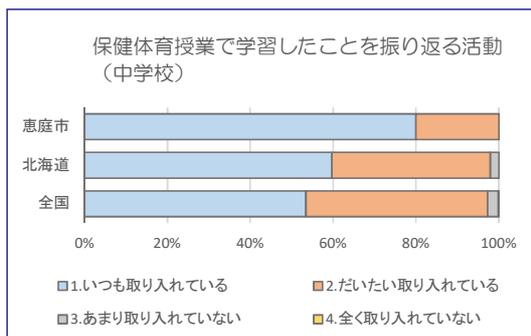
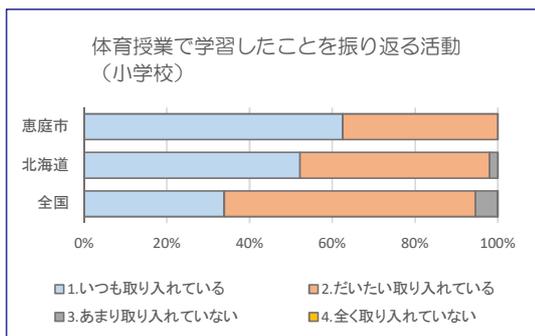
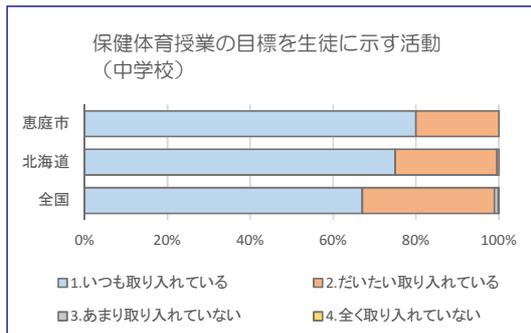
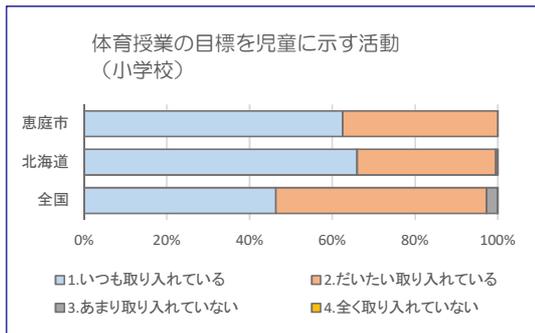
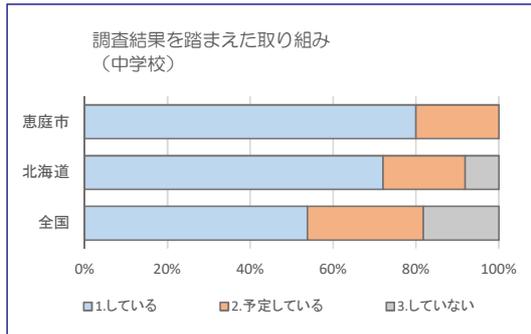
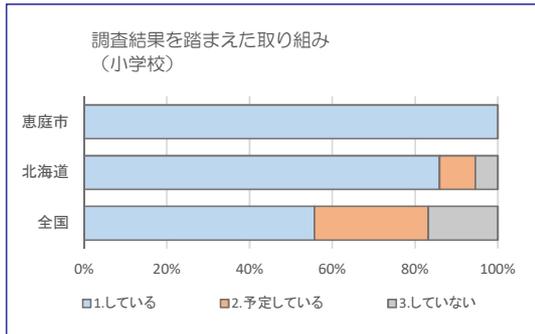
体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること（中学生・女子）



## 8 学校質問紙調査の結果 (小・中学校)

### 保健体育授業について

- 調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を「行った」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を大きく上回っている。
- 保健体育授業の目標を児童生徒に示す活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 保健体育授業で学習したことを振り返る活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。

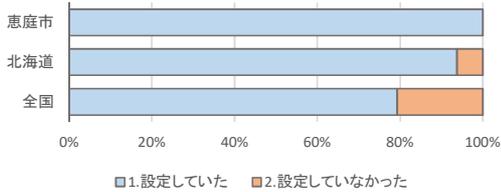


保健体育授業以外の取り組みについて

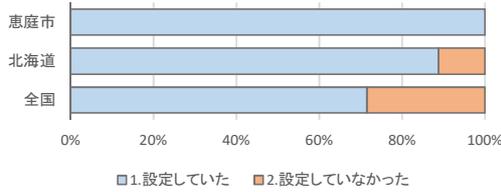
●前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標を「設定していた」と回答した学校は、小・中学校ともに100%であり、全国平均を上回っている。

●前年度、全児童生徒に対する保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を「行った」と回答した割合について、全国平均と比較すると、小学校ではやや下回っており、中学校では上回っている。取組の内容として、小学校では「縄跳び」「運動遊び」が、中学校では「縄跳び」「ランニング」「複合した活動」を行ったという回答が多かった。また、小学校では記録カードなどを活用し自己の成果を記録した割合が、中学校では生徒による自主的な準備・計画を取り入れた割合が比較的多く、児童生徒が取り組みやすい環境づくりを進めている。

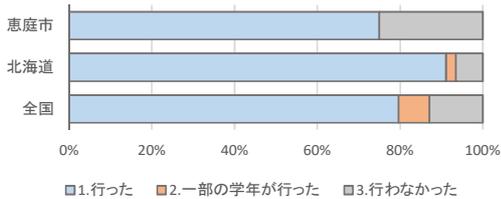
前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定（小学校）



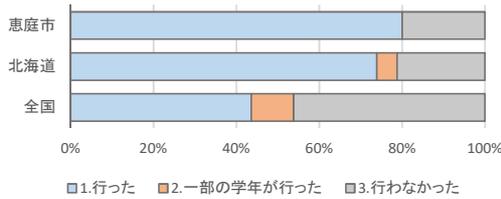
前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定（中学校）



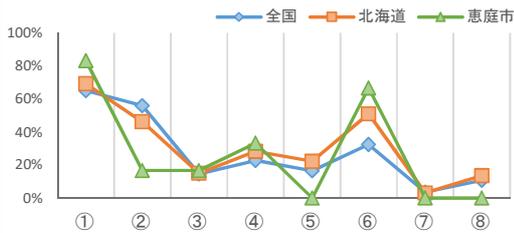
前年度、全児童に対する体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組（小学校）



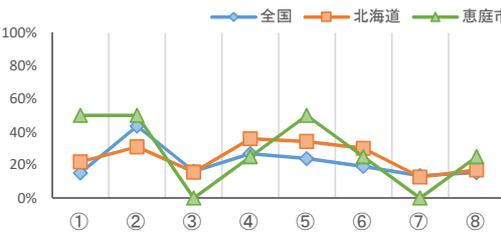
前年度、全生徒に対する保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組（中学校）



体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動内容 ※複数回答可（小学校）

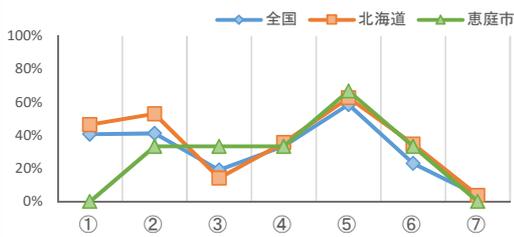


体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動内容 ※複数回答可（中学校）

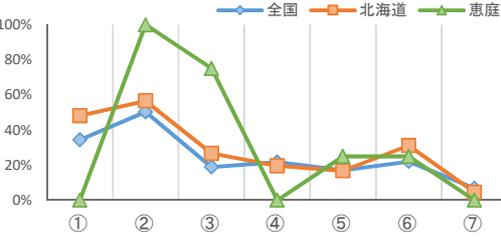


①縄跳び ②ランニング ③体操 ④ボール運動・球技 ⑤複合した活動 ⑥運動遊び ⑦特定していない ⑧その他

体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動を行う上での具体例 ※複数回答可（小学校）



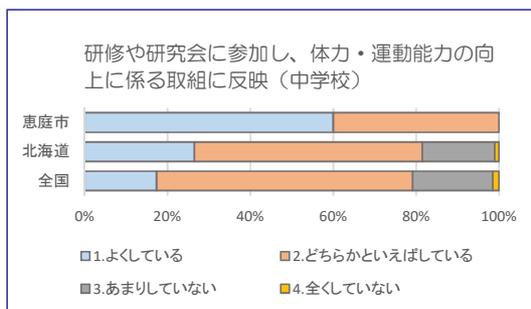
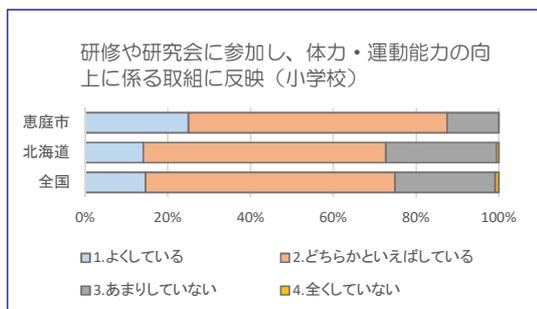
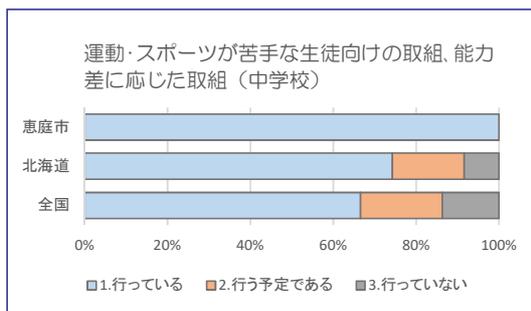
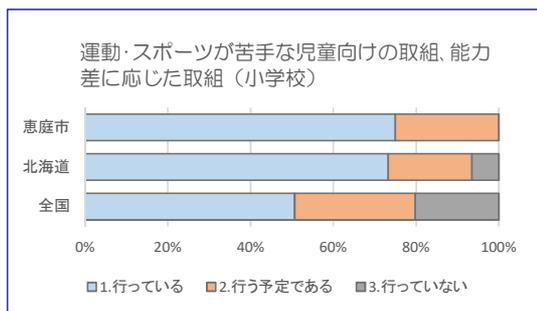
保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動を行う上での具体例 ※複数回答可（中学校）



①縦割り（異学年）での交流を行った ②児童/生徒による自主的な準備・計画を取り入れた ③学級対抗などの対戦形式を取り入れた ④数値目標を設定した ⑤記録カードなどを活用し自己の成果を記録した ⑥児童/生徒が行える運動遊びの種類を多く設定した ⑦その他

## 指導方法の改善等について

- 運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を「行っている」と回答した割合は、小・中学校ともに全国・全道平均を上回っている。
- 研修や研究会に参加し、取組に反映しているかについて、「よくしている」と回答した割合は、全国平均と比較すると、小学校でやや上回っており、中学校では大幅に上回っている。



## 「新体カテスト」の実施状況について

- 恵庭市では、小学校において8校中7校が全学年で実施しており、「4～6年生」は全ての学校で実施している。中学校においては、5校中5校が全学年で実施している。

※「新体カテスト」・・・文部科学省が国民全体の体力・運動能力調査として策定・実施している体カテストのこと。今回の調査とは異なる。